

とよつだより

第 3 1 号

平成26年3月1日発行

—編集・発行—

豊津地区まちづくり委員会

(広報記録専門部)

頑張りました！ かるた大会

一月二十六日、五十四人の参加のもと、『第九回とよつかるた大会』を開催しました。競技開始前は和やかなムードだったものの、車座になって開始の挨拶をすると、勝負心が見え隠れ。皆さん、必死な形相でかるたに挑みました。かるた取り終了後は、恒例の餅つき大会。重い杵にフラフラする子もいましたが、皆で餅を楽しくつきあげ、美味しく、そしてお腹いっぱいいただきました。餅つきや調理をお手伝いしてくれた皆さん、ありがとうございました。



【幼児の部】

優勝 柏葉たくまさん

「緊張しなかったけど、いっぱい汗をかいだ」

二位 宮崎ゆうさん

三位 大川ゆめかさん



【低学年の部】

優勝 山町美羽さん

「楽しかったです」

二位 柏葉龍穂さん

三位 浅間あずなさん



【中学年の部】

優勝 山本柚希さん

「初めて優勝できたので、うれしかった」

二位 君和田莉央さん

三位 宮崎渚さん



【高学年の部】

優勝 藤城歩夢さん

「図書券がもらえてうれしかった」

二位 額賀寛未さん

三位 佐藤賢吾さん



【一般の部】

優勝 佐藤紀子さん

「皆さんが控えめだったので、優勝できました」

二位 柏葉則穂さん

三位 松岡理恵さん



【シニアの部】

優勝 君和田君江さん

「楽しくできました」

二位 柏葉秋穂さん

三位 久保原茂男さん



小学校と合同で 防災避難訓練

▼ 熱心に防災講話を聞く参加者たち



一月二十日、『豊津地区住民防災避難訓練』を行いました。小学校に集合し、市交通防災課の職員から災害時の心構え等の防災講話を聞いた後、避難経路の確認をしながら鹿野中学校に向けて歩いて避難しました。北浦や鰐川に面する豊津地区の最大の心配事は「水害」。平日の開催という事で、一般参加者の平均年齢は高かったのですが、地域全体で防災に対する知識・経験値を高めようという意気込みをうかがい見ることでありました。参加された皆様、お疲れ様でした。

三年前の大地震、大津波。まだまだ、あの恐ろしさが目に焼き付いている。しかも、津波が高松地区の一部にまで押し寄せた紛れもない事実である。

今回、消防団、小学校、地区合同での水害を想定した避難訓練に参加した。避難の心構えや避難方法等の学習後、鹿野中までの避難道を確認しながら歩いた。途中、道路横断等に危険な場所はないか、今災害が発生したら何をすべきかと思いつつ、有意義な体験ができた。その中で、家族での話し合いや役割、非常持出し物の置き場所、連絡方法、ペットの搬出、避難経路、近所への声かけなど、大事だと思った。災害は、いつやってくるかわからない。災害時に混乱しないように、家族での決め事が必要と思った。

『確認するなら、今でしょ！』
(地域環境専門部 坂本昌己)

【参加者の感想】

・高い場所に行けば安心。そのためにも、訓練は必要だと思った。

(荒野昭)

・鹿野中（避難場所）までの道のりを、お互いに声を掛け合いながら避難しました。助け合いは大事。

(郡司由一)



第十八回とよまつり

今回も盛大に開催

昨年の十一月三日、好天の下、『第十八回とよまつり』を豊津まちづくりセンターで行いました。

作品展は朝九時から、模擬店は九時半からの開始でしたが、野菜販売や模擬店のテント前には開店を待ちきれない人が多く見受けられました。

まつりというと、食欲をそそる良いにおいが漂う模擬店に注目が行きがちですが、まちづくりセンターで活動するサークルや子どもたちの素晴らしい作品展示にも、多くの人が集まりました。

また、ここ数年行っている子どもたちの提灯もちも、昨年六月に竣工した一の鳥居まで囃すなど、たいへん盛り上がりました。

午後からは、地区の方々の芸能発表です。素晴らしい彩られた舞台の上で、今年も素敵な歌や演奏、踊りが演じられたほか、大きな笑いに包まれた愉快な発表もあり、あつという間の二時間でした。

最後はお楽しみの抽選会。皆さん、豪華(?)賞品をお土産にまつりを後にしていきました。



たわらぼっち編み方講習

皆さんは『棧俵(さんだわら)』ってご存じですか?『俵ぼっち』と聞けばわかる人もいるでしょうか。

『棧俵』は、俵の両端につけるわらで編んだ円いふたのことで、昔から神座や神饌の容器として、また正月には年神の幣束を刺したり、鏡餅をのせるのに使われたりもする縁起物でもあります。

お正月を前に、縁起物でもある棧俵を編んで、部屋の飾りや実用品としてはどうかと、君和田一郎さん(爪木)を講師にお願いし、十二月七日、講習会を開きました。丁寧な教え方とお手伝いで、参加者の皆さんは苦労しながらも直径約二十センチの棧俵が無事完成しました。



▲センターの玄関には、君和田さんの見事な作品を展示中



三世代交流のそば打ち体験

今年度の『男の料理』は、これまでに六回の行事を実施しました。その中で、とよつキッズとの共催による『そば打ち体験』を紹介します。

十一月下旬に入念に事前打ち合わせを実施。けんちゃん汁と天ぷらをつくる事に決定して、役割分担。そして、十二月八日の当日、鰯川で取れ立てのピンピンと跳ねていたエビとクチボソを天ぷらに揚げました。そば打ち体験では子ども七人、保護者等八人、男の料理会員十人と総勢二十五人の協力

で、美味しい料理ができました。これからも、『男の料理』ではいろいろな企画をたて、楽しく活動をしていきたいと思っておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。



☆ 皇居ウォーキング ☆

今年度の『悠々健康づくりウォーキング』は、十一月十七日(日)、三十七名の参加で、皇居周辺をコースに行いました。天候にも恵まれ、皇居周辺の素晴らしい紅葉を眺めながらウォーキングを楽しみ、約二時間半にわたって、爽やかな汗を流しました。

○ウォーキングコース○

日比谷公園内「松本楼」で昼食後
皇居前丸の内キッテ見学→大手門→本丸跡
地→大奥跡地→北はね橋門→イギリス大使館
前→半蔵門→桜田門

有名な松本楼の銀杏の紅葉(銀杏だから黄葉?)はとても素晴らしく、また手入れの行き届いた美しい皇居周辺の散策は、目の保養と共に、歴史の勉強にもなりました。

来年のウォーキングが、今から楽しみです。



『ピラティス』を体験!

二月十六日(日)、『ピラティス教室』を開きました。この『ピラティス』とは、エアロビクスの激しい動きと違い、太極拳やヨガのようなゆっくりとした動きでストレッチを中心とした内筋肉(インナーマッスル)をしなやかに鍛える運動です。

この運動は、姿勢と肩こり・腰痛等を改善し、心と体をアクティブに成長させ、美容と健康に欠かせない存在とのことです。解剖学を重視したエクササイズだから効果は抜群とのこと、年齢は関係なく、マット一枚あれば簡単にできることから、参加した老若男女(二十八人)は楽しんで体験しました。

終了後、参加者にとったアンケートでは、機会があれば再度、まちづくりセンターで『ピラティス』をやりたいという声が多くありました。

健康管理は、まず自分自身が気をつけたいね!



【つぶやき】『異常気象』という言葉が聞かれるようになって久しくなりませんが、昨今は『爆弾低気圧』とか『南岸低気圧』という言葉が茶の間の話題に。交通機関が麻痺する位のドカ雪が二週続けて降り、予定が狂ってしまった方も多かったことと思います。幸いにも、この鹿行地方は雪の影響が少なかつたので何よりでしたが、こうなると次の関心事は、この夏。身体に込めるので、どうぞ記録的な猛暑など勘弁してください。お願いします。